

再生、若い力で 地域を学ぶ講演

天竜・佐久間中で船戸教授

地域について学ぶ授業の一環として、浜松市佐久間中学校（天竜区）で22日、静岡文化芸術大の船戸修一教授（農村社会学）による講演があった。

船戸教授は、ある程度の人口減少は社会現象として受け入れる必要があると指摘。その上で、「限界集落」とされる地域の中にも実際にはまだ共同生活が持続できる場合もあることなどを挙げ「もし大人たちが『この地域はいずれなくなるよ』と言っても、そう思い込む必要はない。過疎地はま



だまだ皆さんの世代が十分楽しめる場所だ」と語りかけた。

希望した生徒12人が聴講した。1年生の倉田彩仁佳さんは「地域で何かやってみたいという気持ちになった。これからの学習の成果は他の人にも伝えて、輪が広がるようにしたい」と話した。（野瀬井寛）

船戸教授の話
を聞く生徒たち
浜松市
天竜区の佐久間中